みはるぎかい

2026/11
NO.186



特集 P.2-3
意見交換会

P.4-5 決算審査
P.6-7 定数と報酬
P.10 まちの“ギモン”に直撃
P.16 みはるのキラ人



＼とどけ町民の声／

意見交換会



議会では町民との意見交換会を行っています。
ともに地域の課題解決のために知恵をしぼり、さらに町へ申し入れを行っています。

7月23日開催　御木沢地区まちづくり協会

「三春駅周辺の環境整備・活性化」と「御木沢小学校の教育環境・安全対策」の2点にしぼり意見交換を行いました。様々な視点から要望が出たため、御木沢地区の安心安全のためにも、しっかりと皆さんの声を町政に届けてまいります。







主な内容

- 駅前法面の維持管理
- 夜間の歩道の安全対策
- 駅舎等を活用した高校生等の居場所づくり
- 学校施設での無人草刈機の導入
- 教室上部の梁の安全確認
- 通学路の安全確保　など

鹿又喜一（かのまたきいち）協会長よりひと言

駅前や御木沢小学校のことで大変盛り上がりました。議員ともっと話がしたかったです。応援しているので議員には町へもっと発言してもらいたいです。

8月4日開催　女性模擬議会議員

7月11日の第2回三春町女性模擬議会終了後、女性模擬議員（12名のうち10名）に再度お集まりいただき、意見交換会を開催しました。

模擬議会を通じて感じたことや一般質問に込めた思いを共有し、町政への参加意識や今後の関わり方について意見交換を行いました。皆さんからいただいた思いとご意見を、今後の議会活動に引き継いでいきたいと思います。







9月5日開催　田村高校生ボランティア

一般質問当日の運営に協力いただいた、４人の田村高校ボランティアの皆さん（橋本怜弥（さとや）さん、橋本怜依（れい）さん、増子庵（いおり）さん、遠藤はるかさん）と議会終了後に意見交換会を行いました。

議会傍聴体験の感想や将来の夢など、高校生視点から多くの話を聞くことができました。皆さんのふるさと愛や動物愛、社会貢献に対する思いや夢に向かって進みたいという強い意志を感じることができました。







議会から町へ申し入れを行いました



意見交換会で出た意見をふまえ、9月４日に議会から町へ申し入れを行いました。

申し入れの内容とそれに対する町からの回答は表のとおりです。

	議会から申し入れ	町からの回答
1	駅前法面の草刈りや防草対策について検証し、維持管理の省力化・景観向上を図る整備方法を検討すること。	現在は地元道路愛護会の協力で対応中。コンクリート化は一案として調査を開始し、費用対効果や容易な管理方法を検討予定。
2	駅周辺の夜間の暗さが安全上の課題であるため、防犯灯やソーラーライト等の設置を関係機関と協議し、安全対策を講じること。	三春土木事務所に街路灯設置を要望したが、設置基準に該当せず。今後、防犯灯設置について関係者と協議を進める予定。
3	駅舎や駅前集会所を活用し、高校生や地域住民が安心して交流できる居場所づくりを検討すること。	管理者配置の課題があるため、駅舎内の待合空間を活用した居場所づくりについて今年度検討を進める。
4	作業負担軽減及び安全性向上のため、町として無人草刈り機１台を導入し、学校や地区で活用する仕組みを検討すること。	無人草刈り機を所持する町内業者に委託し、学校施設の法面などの危険箇所の草刈りを対応する予定。次年度予算に計上する方針を検討中。
5	御木沢小学校教室内の梁型剥落等への対策内容や現在の状況を確認し、必要な今後の対策を示すこと。	剥落の可能性がある漆喰を剥がし、安全性を確保した。美観向上のため、成形や漆喰塗りを次年度予算に計上する予定。
6	通学路の標識・停止線・路面表示、学校施設の安全対策を点検し、改善箇所を対応すること。	各学校ごとに合同点検を実施し、町全体の優先順を決めて対応中。学校敷地内の危険箇所については、緊急性の高いものから順次修繕する予定。

＼きちんと使えた？まちのお金／

令和7年度決算審査

令和7年度の決算審査が終了しました。この1年間で町は1億9,600万円の“貯金”を確保しましたが、果たして予定されたまちづくりが滞りなく進められていたのでしょうか？

詳しくはこちら

広報みはる10月号
P8「決算報告」をチェック

総務分科会

歳入・歳出の状況やふるさと納税、広報活動、各種事業の執行状況などを審査しました。

財政運営の状況を確認し、今後の事業の効果的な実施について質疑を行いました。

議員からの意見

ふるさと納税の寄付額が約3,000万円から約2,000万円に減少したことをふまえ、返礼品の見直しと新たな商品の開拓を求めました。モンベル商品やキャンプ等の体験型返礼品の活用、返礼品の掲載方法やPRの充実を図り、寄付額の回復につなげるよう求めました。



おでかけ応援隊・支援隊、地域公共交通、交通安全対策、消防車両の更新、防災対策などについて審査しました。

利用条件や事業効果を確認するとともに、今後の交通、防災体制について質疑を行いました。

議員からの意見

おでかけ応援隊・支援隊は利用者数だけでなく、地域の支え合いや送迎困難な方への支援も考慮し、継続を求めました。

また、安心おでかけタクシーは利用実績や運行経費を検証し、実証実験終了後も町民の移動手段が確保されるよう、早期に方針を示すことを求めました。



文教厚生分科会

塵芥処理について審査しました。「田村市の燃えるごみの受け入れが終了したため、今後他市町村のごみを受け入れて運営していく予定。10年後を見据えて田村市・小野町と共同の新たなごみ処理について協議をしていく予定」との回答でした。

議員からの意見

CO2削減に取り組む中で他市町村のごみを受け入れるのは矛盾しているが、西部環境センターの運営を考えると炉を休ませるよりは良いと納得しました。さらに、資源ごみの回収方法について見直しを求めました。



井戸の掘削補助金の大幅な増加について審査しました。

議員からの意見

令和6年度は3件、令和7年度は21件と申し込みが増えている。予備費より充てて対応しているが、見込みが甘かったのではないか。水は町民の生活に直結するので、しっかりと補助金を確保するよう求めました。



経済建設分科会

建設課の事業においては、屋外広告物、公園遊具、道路のセンターラインの管理や、駅前のインフラ・法面のより良い管理方法について審査しました。

議員からの意見

「“ゆかしい”まち三春」のアピールのためにも屋外広告物や公園遊具等の適切な更新・管理をし、警察と連携して道路の安全を確保するよう求めました。

駅前は三春の玄関口としてふさわしい整備と管理をしてほしいと思います。



産業課の事業においては「滝桜観光」や「農業振興」を中心に審査しました。

議員からの意見

【滝桜観光】「観光者対策の費用対効果のバランスが重要である」と意見を付しました。

【農業振興】ピーマン、ブルーベリーに次ぐ第3の農産物の振興に力を入れるよう求めました。



審査の流れ



本会議

町長が決算議案を議会に提出



予算決算特別委員会

担当課長より議案説明



分科会

3つの分科会に
分かれて議案審査



審査結果報告

予算決算特別委員長に
より審査結果を報告



本会議

質疑、討論を行い議案を採決

＼町民とつくる議会へ／

議員の定数と報酬の改定決定！

2元代表制の一翼を担う議会。町民の暮らしを守り、声を町政に反映させる大切な役割を果たすための必要な人数とは？報酬は？

定例会9月会議で条例改正が可決となり、来年の改選後（令和9年10月1日）より施行されます。

背景

現在の議員定数16名は、平成19年（人口18,832人）から、令和7年（人口16,025人）まで約20年現状維持でした。また、議員報酬は、平成9年から30年間見直しされませんでした。

目的

人口減少社会の進行や議員のなり手不足の解消、議会機能の維持の観点から将来を見据えた議会のあり方について検討しました。

経過

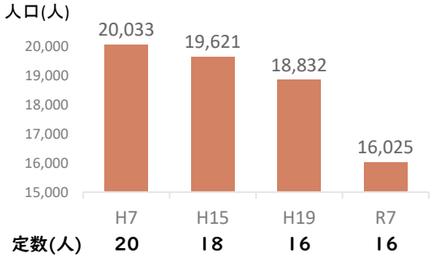
令和6年より議論を開始。令和7年から議会運営委員会において本格的に議論を進め、全議員の年間活動量等を調査。議員定数の規模及び議員報酬の適正な水準を検証しました。

第三者視点

町民参加の機能的な二元代表制の実現・強化に向け、三春町特別職報酬等審議会の答申を受けたうえで、報酬額を判断しました。

定数削減

三春町の人口と議員定数の推移



16人 ➡ 14人

少子高齢化や人口減少を背景に、町民の意見や他自治体の動向、議会運営への影響などを考慮し適正な議員定数を設定しました。



報酬引き上げ

議員１人あたり月額

224,000円 ➡ 260,000円

議員報酬を引き上げ、常任委員長および議会運営委員長の報酬を新設しました。議員活動の負担増加やなり手不足への対策として、調査・分析を基に適正額を算定しました。

改正前

区分	月額
議　長	310,000 円
副議長	246,000 円
議　員	224,000 円

改正後（令和９年10月１日から適用）

区分	月額
議　長	346,000 円
副議長	282,000 円
各委員長	271,000 円
議　員	260,000 円

みんな知ってる？

議会活動の1年間を振り返ってみました

「議員って何をしているのかよく分からない…」　そんな声も耳にします…
では、実際に何をしているのでしょうか？
定例会だけでなく、委員会、意見交換会、視察受入など、皆さんの目に触れる機会は多くありません。
今回は、昨年度の議会活動を紹介します。

4月	11日	広報広聴常任委員会
	21日	委員会書記辞令交付式
		全員協議会
5月	21日	全員協議会
	26日	議会運営委員会
	30日	定例会6月会議(~6/4)
6月	4日	全員協議会
	27日	意見交換会(みはる議会だよりモニター)
7月	18日	広報広聴常任委員会
	24日	議会運営委員会
	29日	7月第1回会議
		全員協議会
		大分県日出町議会視察受入
8月	21日	全員協議会
	26日	議会運営委員会
	29日	定例会9月会議(~9/9)
9月	4日	全員協議会
	9日	議会運営委員会
		全員協議会
10月	14日	議会運営委員会
	17日	10月第1回会議
	20日	全員協議会
		広報広聴常任委員会
		町村議会議員研修会
11月	13日	議会運営委員会(定数等検討)
	14日	意見交換会(三春町住宅研究会)
	21日	議会運営委員会
	26日	11月第1回会議
		全員協議会
		議会運営委員会
12月	1日	定例会12月会議(~12/5)
	5日	全員協議会
	9日	宮城県七ヶ浜町議会視察受入
	12日	意見交換会(三春町認定農業者協議会)
	16日	議会運営委員会(定数等検討)
	25日	意見交換会(一社田村青年会議所)
	25日	議会運営委員会
		12月第1回会議
		全員協議会
1月	15日	広報広聴常任委員会
	21日	全員協議会
	29日	議会運営委員会(定数等検討)
		意見交換会(三春モニタリングポストの会)
2月	13日	地方自治研修交流セミナー
	18日	意見交換会(おばちゃんくらぶ)
	19日	議会運営委員会(定数等検討)
	24日	全員協議会
		議会運営委員会
3月	2日	定例会3月会議(~3/12)
	12日	全員協議会
	26日	議会運営委員会
	27日	3月第1回会議
		全員協議会
		議会運営委員会(定数等検討)

＼第50回／議会クイズ

Q 9月会議の補正予算で「三春まちづくり公社」へ運転資金を貸し付けるようになりました。その金額は？
①3，000万円　②3，500万円　③4，000万円

応募方法
クイズの答え、氏名、住所、年齢に加え「議会」や「みはる議会だより」に対するご意見・ご感想を以下のいずれかの方法でお送りください。

①ハガキ　〒963-7796 三春町字大町1-2 三春町議会事務局 宛
②FAX　0247-61-2310
③E-mail　gikai@town.miharu.lg.jp
④ネット　右のQRを読み取りください

締　切
令和8年11月20日（金）（当日消印有効）
※ 応募いただいた個人情報はクイズ対応業務以外の目的には使用しません。

＼正解者の中から抽選で3名に／
1,000円分の商品券を進呈！



※当選は発送をもって発表に代えさせていただきます

前回のクイズ
7月に女性模擬議会が行われましたが、参加された女性は何名でしょうか？
答え　③12人

3,000万円の貸付決定　令和８年度補正予算第４号

株式会社三春まちづくり公社へ3,000万円を貸し付ける内容の議案が議会に提出され、賛成多数で可決しました。

令和２年以降、公社は赤字決算が続きました。令和7年度には黒字決算に転換しましたが、事業運転資金が減少し、厳しい状況となっています。

3,000万円を貸し付けることに対し、議会ではさまざま討議がなされ、賛成9人反対6人（議長除く）と意見が分かれました。



賛　成



影山　常光　議員

第３セクターの（株）三春まちづくり公社は、三春の里田園生活館や農家の収入向上に向けた農産物直売所「かご市」の運営、三春滝桜をはじめとした観光振興など多岐にわたって事業に取り組んでおります。三春町にとっても重要な役割を担ってきた公社です。

経営改善の動向など注視しながら今回の貸付は認めるべきと考えます。

影山孝男、三瓶一壽、石井一正、
三瓶文博、橋本善一郎、佐久間正俊、
影山常光、遠藤亮子、鈴木利一

反　対



山崎　ふじ子　議員

町民の血税を投入するので、財政が厳しくなった原因を分析する。それから改善計画を確認して納得がいく内容であれば議決をする。原因解決の道すじが明らかではない状況で、議会がこれを良しとしてはならないと思います。

大内広信、佐藤弘、山崎ふじ子、
小林孝、松村妙子、篠崎聡

＼部活動遠征のバス費用の支援を／

国へ意見書提出

三春町議会は、「部活動及び地域クラブ活動における遠征等の移動費に対する財政支援を求める意見書」を国に提出しました。

地方では練習試合や大会への参加に長距離移動を伴うことが多く、貸切バス等の高額な費用が保護者負担を増大させています。

国に対し、燃料費や借上料の高騰による負担軽減を目的とした財政支援制度の創設を要望しました。

児童生徒が安全かつ公平に活動機会を確保できる環境づくりを求めます。



＼今後もよろしくお願いします／

人事案件

同意第３号



すずき　てるお
鈴木 輝夫 氏

固定資産評価審査委員会委員の鈴木輝夫氏の再任について同意しました

任期：令和8年10月1日から3年間

同意第４号



くさの
草野 エリ 氏

教育委員会委員の草野エリ氏の再任について同意しました

任期：令和8年10月1日から4年間

諮問第１号



むらこしたけし
村越 武 氏

人権擁護委員の村越武氏の再任について適任と認めました

任期：令和9年1月1日から3年間

7月第１回会議（臨時会議）

7月2日に開催し、「訴えの提起について」「三春町福祉会館及び南町高齢者住宅外壁等改修工事請負契約」「令和８年度三春町一般会計補正予算」計3件の議案を可決しました。このうち「訴えの提起について」は、町立三春病院の指定管理者である星総合病院が、契約を途中で一方的に破棄したとして、町が損害賠償請求訴訟を提起するものです。



趣　旨

▼名称：損害賠償請求事件

▼原告：三春町

▼被告：公益財団法人星総合病院
理事長　星　北斗

▼訴えの趣旨

⑴被告となるべき者に対し２億6,246万8,230円及び支払い完了までの利息年0.03％の支払いを求める

⑵被告となるべき者に対し訴訟費用の負担を求める

要　旨

⑴町立三春病院の指定管理者（星総合病院）と基本協定書締結（平成29年３月※10年１期の２期目）

⑵平成29年４月から10年間の指定管理期間であったが、途中で星総合病院から指定管理業務の指定取り消しの申し出提出（令和7年9月3日）

⑶指定管理者指定取り消し（令和８年３月31日）

⑷指定管理者仕様書では「自己の理由により指定管理者側から指定の取り消しを求める場合は、１年以上の猶予をもって申し出、町と協議するものとする。」とあり、今回の申し出は規定違反。

定例会９月会議の議案をピックアップ

三春町議会で審査した全ての議案が可決となりました。今回は、福祉会館エレベーター改修事業や町税条例の一部改定など、町の福祉や公共サービスの充実を目的とした議案が提出され、地域の利便性や安全性向上が期待されます。その中から気になる議案をピックアップして紹介します。

議案50号

エレベーター改修工事請負契約

三春町福祉会館及び南町高齢者住宅のエレベーター１基について耐震・安全性能を高めるためにエレベーターを改修するもの。



契約金額　52，800，000円

議案51号

三春町土地取得基金条例廃止



事業用地の先行取得資金として設置されている基金について、利用状況等をふまえ、より効果的な資金活用を図るために廃止するもの。

基金積立額　31，000，000円

町提出議案25件　全議案可決

議案第50号	三春町福祉会館及び南町高齢者住宅エレベーター改修工事請負契約について
議案第51号	三春町土地取得基金条例を廃止する条例
議案第52号	三春町地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例
議案第53号	福島県特定事業活動振興計画に基づく町税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例
議案第54号	三春町印鑑条例の一部を改正する条例
議案第55号	三春町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例
議案第56号	令和7年度三春町水道事業会計未処理欠損金の処理について
議案第57号	令和8年度三春町一般会計補正予算（第4号）
議案第58号	令和8年度三春町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
議案第59号	令和8年度三春町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
議案第60号	令和8年度三春町介護保険特別会計補正予算（第2号）
議案第61号	令和8年度三春町病院事業会計補正予算（第2号）

※議案第 57 号を除き全議案全員賛成で可決（詳しくは次のページへ）

同意第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて
同意第4号	教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて
認定第1号	令和7年度三春町一般会計歳入歳出決算認定について
認定第2号	令和7年度三春町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
認定第3号	令和7年度三春町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
認定第4号	令和7年度三春町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
認定第5号	令和7年度三春町町営バス事業特別会計歳入歳出決算認定について
認定第6号	令和7年度三春町放射性物質対策特別会計歳入歳出決算認定について
認定第7号	令和7年度三春町病院事業会計歳入歳出決算認定について
認定第8号	令和7年度三春町水道事業会計歳入歳出決算認定について
認定第9号	令和7年度三春町下水道事業等会計歳入歳出決算認定について
認定第10号	令和7年度三春町宅地造成事業会計歳入歳出決算認定について

まちの“ギモン”に直撃！

9月5日（土）定例会9月会議で10名の議員が一般質問に登壇

内容をダイジェスト版でお知らせします。
各ページ2次元コードから一般質問録画映像がご覧いただけます。

※一般質問とは…議員が町に対し町政全般の幅広いテーマについて、政策の提言や行政の監視を目的に、政策の執行状況や将来の方針などについて質問します。

三春町公式チャンネル

Q 身寄りのない高齢者への公的支援は

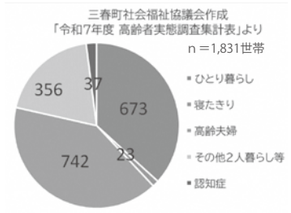
A 2028年施行に向けて検討します



遠藤（えんどう） 亮子（りょうこ） 議員

問 国では身寄りのない高齢者支援強化を盛り込んだ社会福祉法等の改正案に伴い、日常生活や入退院時や葬儀の手続きをサポートする公的支援制度を創設するとのことですが、町で行っている支援制度について。①身寄りのない高齢者の人数は ②行政手続きに対する事務的サポートは ③その際にかかる費用の支援はそれぞれどうなっていますか。

保健福祉課長 ①実態を捉えることが難しく人数は把握していません。②社会福祉協議会の安心サポート事業では、福祉サービスの利用援助や日常生活の金銭管理サービスなどを行っています。③生活保護制度など要件に該当する場合は公費の支援を行いますが、実費等は原則本人負担となります。



ひとり暮らしの実態

Q 新生三春病院運営者の構想は

A 在宅医療と介護の連携強化を目指します



三瓶（さんぺい） 一壽（かつとし） 議員

問 新生三春病院の運営者選考体制や指定管理者制度の有無などの進行状況を伺います。

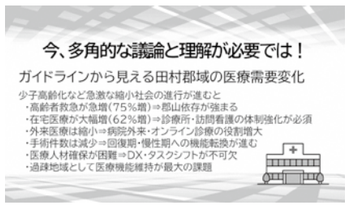
町長 昨年末より3法人からの後継希望の打診がありましたが、現在1事業者と条件を含めて調整中です。

問 募集にあたり、町としてはどのような地域医療体制のコンセプトで臨もうとしていますか。

町長 新たな医療機関が担う役割として、在宅医療等の連携機能と医療介護の連携強化を重視しています。病院・診療所のどちらの体制が良いのか医師会の先生方と協議しながら見極めていく予定です。

問 運営者を検討するうえで選考組織は設けていますか。

町長 現時点では設けていませんが、状況に応じて対応していきます。



Q 工場設置奨励金 10年は過大では

A 廃止、縮小の見直しを進めます



影山（かげやま） 常光（つねみつ） 議員

問 縮小社会の対策として、暮らしの質を保ちながら行政を再設計することが必要です。誘致企業へ固定資産税相当額の奨励金を交付する町独自の制度は免税と同じです。工場立地促進条例に基づく奨励金のこれまでの交付額はいくらですか。

産業課長 平成29年以降で約4億4，000万円になります。状況をふまえ、条例の廃止、縮小の見直しを進めていきます。

問 旧桜中学校交流施設の一事業者が退去すると聞きました。賃料と維持管理費はいくらですか。

副町長 賃料は3事業者合計で月額約24万円でした。町が負担する維持管理費は年額約100~200万円、維持工事費は令和4~6年度の3年間で約1，400万円でした。

問 町施設の借地料の現状はどうなっていますか。

副町長 施設用地は20か所あり、年間の借地料は約1，300万円です。

問 長期的に採算を考えるべきではないですか。

副町長 将来を見据えて、今後のあり方などを速やかに整理します。

Q 国道288号線の管理は

A 土橋バス停付近で管理が分かれています



篠崎（しのざき） 聡（さとし） 議員

問 県が管理している国道288号線の郡山側と三春側で道路の整備状況が違うのではないですか。

建設課長 県中建設事務所と三春土木事務所の管轄が土橋バス停の付近で分かれています。郡山側が県中建設事務所、三春側が三春土木事務所で管理しています。

問 道路整備に関して、住民が県に要望する方法はありますか。

建設課長 直接三春土木事務所に連絡するか、町内会を通じて町建設課に要望を出してもらい、町建設課が県と協議する方法があります。


郡山


三春

Q 再生可能エネルギーの活用の取り組みは

A バイオマス発電の情報収集に努めます



石井（いしい） 一正（かずまさ） 議員

問 現在バイオマス発電の燃料としてイネ科の植物である「ソルガム」が注目されています。ソルガムは痩せた土地でも育つ特性があるため、バイオマス発電の燃料として使うだけではなく、町の休耕地の利活用も進められると考えます。休耕地の活性化にソルガムを活用する考えはありますか。

住民課長 浜通りで取り組んでいることは承知しています。この取り組みについて町内の農地等で栽培が可能か、エネルギーとして活用先があるのか情報収集し、検討したいと考えています。


田村市の発電所　㈱バイオマスエナジー

Q 高齢者の補聴器購入に補助制度を

A 必要性を検討します



山崎（やまざき） ふじ子（こ） 議員

問 日本では、加齢性難聴者が約1，400万人いると推計されており、80歳以上になると8割以上の方が加齢性難聴になると言われています。難聴は徐々に進行するため自分自身で変化に気づくことが難しく、言葉の聞き違いが増えることで自覚していくそうです。
認知症予防のためにも、補聴器は早い時期に使い始めることが勧められます。片側2~3万円から30万円以上するものもあり、補助制度があれば早めに使い始められると思いますがいかがですか。

保健福祉課長 加齢による聴力低下で補聴器が必要な方に対する補助制度は国・県の支援はなく、市町村が独自に助成を行っています。他自治体の取組状況等も参考にしながら必要性を検討していきます。



はずむ会話

Q 三春町住生活基本計画の進行状況は

A 「みはるぐらし図鑑」を配布しお知らせします



三瓶（さんぺ） 文博（ふみひろ） 議員

問 現在の進行状況はどのようになっていますか。

建設課長 町民に本計画を知っていただくため、「みはるぐらし図鑑」を各世帯に配布する準備を進めています。

問 空き家についての取り組み内容を教えてください。

建設課長 「第3期三春町空家等対策計画」の策定を進め、「家き家の発生抑制」「空き家の利活用」「空き家の適切な解体・除去」の三本柱で具体的な対策に取り組みます。

問 家き家バンクの登録物件は一件しかありません。住民の協力がなければ登録が増えないと思いますが、どんな対応を考えていますか。

まちづくり推進課長 空き家実態調査の回答者に対して個別にアプローチしていきます。

詳しくはこちら



「三春町住生活基本計画」と計画の概要版「みはるぐらし図鑑」

Q 体育館空調整備設置の優先順位は

A 中学校体育館から整備します



大内（おおうち） 広信（ひろのぶ） 議員

問 国では15年間で全国すべての施設に空調設備を完備する予定ですが、5年間前倒しで実施する予定になりました。避難所となる体育館等での災害関連死を防ぐためにも、空調設備の設置は急務と考えます。そこで3点質問します。
①町としての優先順位はどのように考えていますか。
②国の補助金はどの程度ありますか。
③財源不足であれば5年間程度積立をし、設置の予算に充てる考えはありますか。

町長 ①避難所となる学校体育館を優先し、中学校体育館、小学校体育館や社会体育施設の順に、空調設備の整備を検討していきます。
②「屋内運動場の空調設備整備事業」や「大規模改造（空調）事業」の補助金があります。
③新たに積み立てを行うことは考えておりません。



移動式空調設備の導入

Q 包括連携協定の今後の方向性は

A 効果的な事業は締結を検討します



影山（かげやま） 孝男（たかお） 議員

問 三春町の包括連携協定は、現在どのように締結されていますか。

総務課長 ①双方が連携できる分野や具体的な取組みの可能性について協議を行い、内容を確認し締結しています。
②包括連携協定は「モンベル」など16団体と締結し、災害連携協定などの個別協定は36団体と締結しています。

問 町の課題解決に包括連携協定は有効であると思います。成功事例を参考に、今後も推進する考えはありますか。

総務課長 今後も積極的に協定先の企業等と連絡を取りながら、有効的であると判断される事業については包括連携協定の締結を検討します。

※包括連携協定とは・・・
自治体や企業が幅広い分野で連携し、地域課題の解決や活性化を目指すための協定



2022年に締結した「モンベル」

Q ニュースポーツの人材育成は

A 講習会など必要な支援を行います



橋本（はしもと） 善一郎（ぜんいちろう） 議員

問 ニュースポーツは誰でも、どこでも、いつまでも気楽に楽しめるスポーツです。健康づくりや住民同士の交流を深めていくためにも、指導や審判ができるように人材育成が必要だと思いますがいかがですか。

生涯学習課長 今後の競技の浸透次第で、講習会の開催等を支援します。

問 用品貸出しの手続き先はどちらですか。

生涯学習課長 窓口は町民体育館です。

問 持ち運びが不便な室内競技用品を町有施設に設置できませんか。

生涯学習課長 現在ニュースポーツに特化した常設競技場の整備計画はありません。



優勝めざし頑張るぞー

次回の一般質問は12月2日（水）午前10時予定です。



～ 一般質問を傍聴してみませんか？ ～

一般質問はどなたでも傍聴いただけます。皆さまのご参加をお待ちしています！

■場　所：三春町役場 3階議場
■申　込：不要
※団体の場合は事前に事務局へご連絡ください
■受　付：当日お渡しする受付表に「住所」「氏名」を記載

詳しくはこちら

議会日記

7/30 議会改革や議会運営に熱い議論
～宮城黒川地方6町村議会研修受け入れ～



＃ようこそ三春町議会へ

宮城黒川地方6町村の正副議長・事務局長16名を迎え、議会改革や意見交換会などをテーマに研修を実施しました。特に意見交換に関心が寄せられ、活発な質疑応答で大幅に時間を超える充実した内容となりました。

8/15・16 今年も踊り切った2日間！
～みどりの法被は議会のシンボルマーク？～



＃みどりの法被に身を包んで

三春盆踊りに参加しました。今年は天候にも恵まれ、暑過ぎず寒過ぎず、とても心地よい気候でした。議会のシンボルでもあるみどりの法被を通じて、地域の皆さまと触れ合いとても充実した時間となりました。

8/28 0.3秒で決まる
～全国町村議会広報研修会～



＃やる気満々 正副委員長

東京で開催された広報研修会に参加し、人は0.3秒で広報物を読むか否かを判断することを学びました。
また、余白や文章構成、ユニバーサルデザインに基づく色やフォントなど基本技術を改めて習得しました。今後も「町民とともに作る議会だより」を目指し努力してまいります。

9/27 令和8年度 町民ソフトボール・家庭バレーボール大会



＃影山議長、渾身の始球式

三春町運動公園で開催され、盛況のうちに終了しました。熱戦を繰り広げた選手の皆様、日頃の練習の成果を発揮し、会場を盛り上げていただきありがとうございました。心よりお疲れ様でした！

9/27 第２回議長杯パークゴルフ大会



入賞順位（敬称略）

	男性の部	女性の部
1	橋本俊幸	橋本英子
2	佐藤芳正	鈴木秀子
3	伊藤健一	溝井ノリ子
4	柳沼　勤	宗像明子
5	今泉秀浩	伊藤せい子

＃入賞おめでとうございます！

田村市パークゴルフ場で第2回議長杯を開催しました。当日は31名が参加し、ホールインワンが5回出るなど大いに盛り上がりました。

その後どうなった？
～一般質問のその後を追跡～

Before → After



＃困った時はこちらへ

3月の一般質問で行政サービスの改善を提案し、高齢者や来庁者の利便性向上を求めました。その結果、役場1階の総合案内看板が目立つデザインに変更され、窓口がより分かりやすくなりました。ぜひご活用ください。

町民はどう見てる？傍聴者インタビュー

今回の一般質問には67名の方が傍聴に訪れ、町民の関心の高さが伺えました。その中から2名の方にインタビューを行い、議会や質問内容について率直な意見をお聞きしました。



堀江（ほりえ） 恵子（けいこ）さん
（明徳大学・下舞木）

いろいろな質問がありましたが、最も身近に感じたのは、一人暮らしの家庭が現在673世帯あると聞いたことです。私自身もそのひとりであるため、とても関心を持ちました。長生きするためには、寝たきりや認知症にならないよう、自分なりに努力していきたいと思います。5年後、10年後も元気でいられるよう、地域のサロンなどの活動にも積極的に参加していきたいです。自分が関心のある質問を聞けて、非常に有意義な時間を過ごせました。



佐藤（さとう） きい子（こ）さん
（明徳大学・下舞木）

今日は傍聴して本当に良かったと思いました。町のことや日々の生活について、議会が様々な視点で考えていることが感じられました。特に、税金の使い方だけでなく、エネルギーの作り方など幅広いテーマに触れていたことが印象的でした。
普段は何も考えずに生活していることが多いですが、このような質問を通じて新たな視点を得ることができ、とても素晴らしい機会でした。

傍聴者アンケート結果を公開

実施した「一般質問傍聴者アンケート（傍聴者67名中60名回答）」では、多くの貴重なご意見をいただきました。町民の声をしっかりと受け止め、今後の議会運営や政策改善に活かしていきます。

1. 若年層の感想

・議会での議論を初めて体験し貴重な機会となりました。

・真剣に議論する姿や現場の緊張感を感じられました。

・経済や子供のことまで議論していることに驚きました。

2. 町の政策や環境課題に関する意見

・国道288号線の道路脇の草木が危険な個所が数カ所見受けられます。

・バイオマス発電に関し、原発事故の影響や輸入燃料などの問題をもっと詳しく調査してほしいです。

・身寄りのない高齢者の調査方法について、民生委員社協連携で調査が必要ではないでしょうか。

3. 議会全体に関する意見

・将来を見据え活発な議論を進めてほしいです。

・「他の自治体を参考に」とする答弁が多く、町の独自性に欠ける対応が心配です。

・冷房が強すぎたり、湿気がこもりやすいなど環境面が気になりました。

・みはる議会だより号外の文字が小さすぎるため読みづらいです。以前の形式が良かったです。

・課に事前照会すればわかる内容を議会で質問することに疑問を感じます。課で回答を受け、それに対する自分の考えを提案するべきではないでしょうか。

シリーズ No.12 ～みはるのキラ人～

「みはるのキラ人」と題して、三春町で活躍されている方をシリーズで紹介していきます。
今回は、中郷小学校のお二人にお話を伺いました。

自分が大好きなものを集めたお店を開きたい!



中郷小学校　６年
橋本（はしもと） 知歩（ちほ）さん

❶今頑張っていることは?
大人のぬりえが好きで、細い線をきれいに仕上げることができるようにがんばっています。

❷学校で楽しいことは?
友達と好きなアニメの話をすることが楽しいです。

❸将来の夢は?
自分が大好きなものを集めたお店を開きたいです。

❹町に対しての希望は?
中郷小学校の近くには、食事をするお店が少ないので、そんなところが増えたらうれしいです。

❺中郷小学校への思いは?
閉校してしまいますが、景色がとてもきれいなので、大人も子どもも笑顔になれるような施設に生まれ変わってほしいです。

美容師になっていろいろな人の希望にこたえたい!



中郷小学校　６年
今泉（いまいずみ） 瞳美（まなみ）さん

❶今頑張っていることは?
緑の少年団の活動内容を11月7日に和歌山県で発表するので、その練習をがんばっています。

❷学校で楽しいことは?
全校生で行う行事です。全校生といろいろな活動ができるからです。

❸将来の夢は?
美容師になって、いろいろな人の髪の毛を希望どおりに切ってあげたいです。

❹町に対しての希望は?
遠くに行かずに家族で楽しんだり、食事ができたりする複合施設があるといいです。

❺中郷小学校への思いは?
統合は悲しいけれど、残りの時間も全校生みんなで思い出を作りたいです。

今月の表紙

今月の題字は夏紬（なつ）ちゃん6歳です。
今年も定例会9月会議に田村高校生４人がお手伝いに来てくださいました。一般質問終了後、４人から日頃頑張っていることや将来の夢についてお話を伺いました。希望あふれる言葉の数々に、私たちも大きな力をもらいました。



笑顔で温かく



記入お願いします

広報広聴常任委員会
委員長／山崎ふじ子　副委員長／篠崎聡
委　員／影山孝男　三瓶一壽　大内広信　遠藤亮子　鈴木利一
編集アドバイザー／小橋知子

発行／福島県三春町議会　編集／広報広聴常任委員会
住所／〒963−7796　福島県田村郡三春町字大町1番地の2
電話／0247−62−8124　FAX／0247−61−2310
メールアドレス／ gikai@town.miharu.lg.jp

マチイロ　みはる議会だより スマートフォンへ配信中!